

事業所名		放課後等デイサービス すばる				支援プログラム		作成日		2025 年		2 月		28 日	
法人（事業所）理念		国（納税者）・保護者・本人のそれぞれの立場から方デいの役割を考えてみたい。1 国（納税者）の立場から：方デいに巨額の税務が投入されているがそれに見合う成果が上がっているのか？→エビデンスに基づく療育の提供、本人の経済的自立への貢献、2 保護者の立場から：自分たちが死んだ後に我が子はどうなるのか？→ソーシャル・サポートのなかで適切にSOSが出せるための環境作りやスキル向上、3 本人の立場から：ゆっくりしたい、楽しみたい、できることを増やしたい→安心・リラックスできる環境下で楽しく学べる場の提供													
支援方針		まずは安心・リラックスできる環境であること、遊びや他愛のない会話を大切に。職員に本音で話せる信頼関係作りに務める。日常的にアセスメントを実施し特に睡眠・疲労感・ストレスの有無の把握に務める。学校や家庭の様子を積極的に情報収集を行う。必要に応じ家族支援や学校等と連携を図り、環境調整を行う。本人支援においては興味関心や強みに注目し個別支援計画を作成し、PDCAサイクルに基づき実施する。成人した際に必要となる社会的スキル等は、SST等の時間を通じて積極的に学習する機会を提供する。													
営業時間		13 時		0 分から		19 時		30 分まで		送迎実施の有無			あり		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	方デい利用時に自作のアセスメントシートを実施し、睡眠・疲労感・ストレスの有無を確認している。不眠や慢性的な痛みを抱える子どもさんには、SSPとボディワーク（クラニオセクラルセラピー、オステオパシー）を試験的に実施している。特性のある子どもさんは、失敗体験や人間関係のトラブルなどからメンタル不調に陥りやすいのでカウンセリング等を通じて予防やストレス軽減に努めている。症状が重い場合は、EMDRなどの専門的な心理療法を行うこともある。ストレスの対処法をSST等で紹介・練習することもある。													
	運動・感覚	感覚過敏・鈍麻のアセスメントツールとして感覚プロファイル、視機能のアセスメントツールとしてWAVESが用意しており、感覚プロファイルは初回面接時に保護者を対象に実施している。感覚過敏にはSSPを実施予定。WAVESは、主に発達性ディスレクシアの疑いのある子どもさんを対象に用いられ、見え方に問題があることが明らかな場合、ヴィジョントレーニングを行うことがある。自由時間には、外遊びや自然探索、卓球やボール遊び、工作ができるように環境整備や機会作りに努めている。近々、原始反射の統合のワークを行う予定。													
	認知・行動	認知機能のアセスメントツールとしてWISC-V、K-ABC II、実行機能のアセスメントツールとしてBRIEF-IIが用意しており、WISC-V等の操作と処理が複雑な検査は、学校や保護者からの依頼があるケースを優先的に実施している。認知機能を高める支援法としては、フォイヤーシュタイン認知機能強化訓練（FIE）、コグトレ・コグOT、リトミック、ワーキングメモリートレーニングがあり、個別または集団で実施している。多動や注意欠如の傾向にある子どもさんを対象に近々ニューロフィードバックを行う予定である。													
	言語コミュニケーション	読み書きの達成度のアセスメントツールとしてSTARAW-Rがあり、発達性ディスレクシアの子どもさんの支援の際に活用している。発達性ディスレクシアの子どもさんの支援法としては、認知カウンセリングを行いながらどのようにすれば学習しやすいのか支援者と一緒に発見していく。アルファベットの学習では、パソコンを使いローマ字入力練習を行ったり、調べ学習の機会を活用したりしている。効果的な記憶学習（アクティブリコールと間隔反復）の原理を使って漢字や理科・社会科の重要語句や英単語の学習を行っている。													
	人間関係社会性	自己表現（アサーション）の程度を測るアセスメントツールとして児童用アサーション尺度等、愛着（アタッチメント）を測るアセスメントツールに愛着アセスメントツールがある。アサーティブな自己表現を身につけることと人間関係を始める際の世間話ができるようになることが就労を継続していくために必要なコミュニケーション力であると捉え、SST等の機会を通じてトレーニングを行っている。社会のルールを守って行動できるよう日常の場面においては、応用行動分析的なアプローチを行い支援を行っている。													
家族支援		モニタリングで学校や家庭での様子を聞き取り、必要があれば臨床心理士によるカウンセリングを追加で実施している。保護者の希望があればペアレント・トレーニングを実施している。						移行支援		中・高校生は進路相談を随時行い、必要に応じ模擬面接を行ったり職業適性検査を行ったりすることもある。アルバイトを希望する生徒に対して履歴書の書き方を指導することもある。					
地域支援・地域連携		学校の先生と連携を図り支援を行うことがある。不登校傾向の子どもさんの出席扱いになるための支援を行ったこともある。相談支援の定例会に法人の職員が参加している。						職員の質の向上		1 スキルアップ研修、2 コンプライアンス研修を年単位で実施している。スキルアップ研修では、本人支援に関する内容、コンプライアンス研修では、法令で定められている内容（虐待防止等）を扱っている。					
主な行事等		過去に行った主な行事 1 季節に関する行事 花見 川遊び・水遊び ハロウィン クリスマス会 風揚げ 2 体験を増やす行事 魚釣り 水族館へお出かけ 登山 買い物体験 3 体を動かす行事 公園遊び 持久走													